

令和6年度

朝来市教育委員会 事務事業評価表

第3期あさご夢・学びプラン		事業名	事務の目的	事業の内容等	課題	評価理由
基本方針	基本的方向				次年度に向けて	
I ふるさと朝来を愛し、夢と自信をもち、可能性に挑戦する力を育成します。	1 生きる力の育成	1 小・中学校特色ある学校づくり事業	児童が地域の「歴史」「文化」「人」「産業」に目を向けることにより、「ふるさと愛の醸成」を図る。	児童に「生きる力」を培うことを目的として、それぞれの学校で特色ある実践事業を展開した。 各学校で、地域教材を活用し、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上を図った。 広く社会で活躍されている地域の専門家、大学教授や一般企業の方などを学校に招聘し、専門的な授業や講演を通じて、児童に夢を抱かせた。	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。
		2 英語教育強化事業	学習指導要領に基づき、児童生徒の英語における語学力定着とコミュニケーション能力の育成に向けた教員の指導力向上を支援する。	・フォニックス指導の実施 ・大学教授による研修会の開催 (10/7枚田小、10/18竹田小、10/29大蔵小、11/22瀬瀬小、11/26生野小、1/29山口小) ・主体的、対話的で深い学びを取り入れた授業の展開 ・英語能力の育成及び学習意欲の向上のため、中学生の英語検定料(英語検定3級以上)を補助【R6年度で廃止】 R6年度補助実績 3級25人、準2級14人、2級4人 計43人	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。
		3 英語指導助手設置事業	国際社会の一員として様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。	市がALTを雇用し、市内の各小・中学校へ派遣した。 ・ALT連絡会の開催(月1回) ・ALT来日・帰国に関する手続き(令和6年度 1人来日、1人帰国) ・ALT住居等の生活環境整備(随時)	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。
		4 教職員研修事業	教職員の研修と教育に関する調査研究を行い、教職員の資質向上を図る。	朝来市教育研修所を設置し、教員の資質を向上させるため研修の機会を設けた。市内の教職員全員がそれぞれの課題や担当に応じて研修に努めた。 ・教育研修会 ・指定校研修 ・職種別・課題別研修:養護教諭部会、事務職員部会 市内小・中学校にてアセスメントや授業研究等の研修会を実施。 ・研究紀要、指導の主要、指導の主要ダイジェスト版を発行	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。
		5 あさごがんばり学びタイム事業	学習習慣を定着させ、必要な知識や能力、学習意欲を身につけ学力向上を図る。	・全国学力・学習状況調査結果の分析・検証に基づき、学力向上に向けて、教員OB等の地域人材を活用し、授業中や放課後の学力向上方策に取り組んだ。 ・市内小・中学校13校にのべ16人の指導員を配置	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。
2 さまざまな支援を必要としている子どもへの対応	6 小学校学びのサポーター配置事業	特別な支援を必要とする児童の就学支援体制の充実を図る。	○学びのサポーターの配置人数 21人 ○実施内容 ・通称学級や特別支援学級において、支援が必要な児童に対し、担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行った。 ・教具を借用している児童やアレルギー対応の児童の身体の安全確保のため、休み時間や給食時の支援を行った。 ・集団生活に入りにくい児童に対して、担任との連携をとりながら、情緒の安定を図り学校生活が円滑に送れるよう支援を行った。 ・特別支援教育に係る学校訪問を行い、サポートをしている授業の様子を参観したり、サポーターとの面談を通じて勤務の様子を把握した。 ・学びのサポーター研修会を開催し、児童への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行った。	現在認識している課題 今後の方向、見直し、対応策等	本事業は「ふるさと愛の醸成」を目的としており、地域の伝統や文化を生かした取組が多く継続されている。伝統文化の継承は地域の強い願いでもあり、新たな事業の立ち上げが難しい面もある。今後は、各校で受け継がれてきた活動を大切にしつつ、現代的な課題にも対応できる視点を取り入れることが求められる。	

		7	中学校学びのサポーター配置事業	特別な支援を必要とする生徒の就学支援体制の充実を図る。	○学びのサポーターの配置人数…6人 ○実施内容 ・通常学級や特別支援学級において、支援が必要な生徒に対し、教科担任等と連携し、学習活動が円滑に進むようサポートを行った。 ・特別支援教育に係る学校訪問を行い、サポートをしている授業の様子を参観したり、サポーターとの面談を通じて勤務の様子を把握した。 ・学びのサポーター研修を関係機関と連携して実施し、生徒への支援の方法や実態把握について専門性を高める研修を行った。	現在認識している課題	・発達障害以外にも、支援を要する児童は増加傾向であり、学びのサポーターに対する学校現場からの要望も幅広く広がっている。 ・個別対応の力や専門的な知識・経験がこれまで以上に求められている。
		8	3 いじめ・不登校へ対応 適応指導教室事業	学校生活への適応が困難になり、長期にわたって学校を欠席している児童生徒に対し、個に応じた指導及び支援を継続的かつ計画的に行い、社会的自立をめざす。	適応指導教室(すまいるルーム)の運営 ・職員配置4人 業務内容 ・不登校児童生徒に対する指導・支援 ・保護者への教育相談 ・学校との連携、相談及び学校への指導助言	今後の方向、見直し、対応策等	・教職員の特別支援教育に関する資質を向上し、校内支援体制を充実させる。 ・関係機関と連携しながら、各校の特別コーディネーターを対象とした研修を実施し、サポーターのみならず教職員の資質向上を図る。
		9	コミュニティ・スクール推進事業	コミュニティスクール(学校運営協議会制度)を活用し、学校、保護者そして地域住民がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくことをめざす。	・各学校運営協議会において、学校経営方針や教育活動等について意見交換を行うことで、保護者や地域住民の声を学校運営に反映 ・学校運営協議会合同研修会において講師を招聘して、実践事例に学び、情報交換をすることで、学校運営協議会委員の見聞を深める	現在認識している課題	・学校運営協議会は定期的に開催されており、委員からは活発な意見が出ている。しかし、意見の内容が幅広く整理が難しいことに加え、委員の顔ぶれが固定化しており、子育て世代の声が会議の中で出にくい傾向がある。
II 地域越ぐるみで「地域と共にある学校園」を創造します。	地域との協働による学校づくり	9	コミュニティ・スクール推進事業	コミュニティスクール(学校運営協議会制度)を活用し、学校、保護者そして地域住民がともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくことをめざす。	・各学校運営協議会において、学校経営方針や教育活動等について意見交換を行うことで、保護者や地域住民の声を学校運営に反映 ・学校運営協議会合同研修会において講師を招聘して、実践事例に学び、情報交換をすることで、学校運営協議会委員の見聞を深める	現在認識している課題	・学校運営協議会は定期的に開催されており、委員からは活発な意見が出ている。しかし、意見の内容が幅広く整理が難しいことに加え、委員の顔ぶれが固定化しており、子育て世代の声が会議の中で出にくい傾向がある。
III これからの時代に対応するための教育環境基盤を整備し、教育成果を共有します。	これからの時代に向けた持続可能な教育体制の整備	10	小学校整備事業	小学校の施設改修を行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	○市内小学校の改修希望箇所調査 ○市内小学校の改修箇所 ・大蔵小学校シャワー室漏水修繕工事 ・校田小学校小便器漏水改修工事 ・生野小学校プールデッキフェンス改修工事 ○生野小学校プールデッキフェンス改修工事設計業務 ○梁瀬小学校校舎LED化工事設計業務 ○大蔵小学校トイレ洋式化工事設計業務	現在認識している課題	厳しい財政事情のため、各学校からの改修要望箇所と実施件数に差が生じている。
		11	中学校整備事業	中学校の施設改修を行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	○市内中学校の改修希望箇所調査 ○市内中学校の改修箇所 ・生野中学校 廊下及び生徒通口壁面再塗装工事 ・和田山中学校 看板撤去工事 ・和田山中学校 窓ガラス遮熱フィルム施工 ・朝来中学校 特別支援教室増設に伴う設置工事 ○朝来中学校特別支援教室増設に伴う備品購入 ○生野中学校屋内運動場LED化工事設計業務 ○朝来中学校トイレ洋式化工事設計業務	現在認識している課題	厳しい財政事情のため、各学校からの改修要望箇所と実施件数に差が生じている。
		12	小学校教育振興事業	小学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立小学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入。 ICT環境の整備を行う ・理科数学振興備品購入(生野小学校、梁瀬小学校) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・タブレット端末他ICT機器保守 ・教育用センターサーバリース(R8.1~R10.12) ・教育用ICT機器リース(R1.9~R6.8) ・GIGAスクール運営支援センター委託	現在認識している課題	・現在のタブレット端末が耐用年数を迎えており、次年度には更新が必要となっている。 ・引き続き、端末を利用した効果的な学習機会の促進が必要である。
		13	中学校教育振興事業	中学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立中学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入。 ICT環境の整備を実施。 ・理科数学振興備品購入(梁瀬中学校) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・タブレット端末他ICT機器保守 ・教育用センターサーバリース(R8.1~R10.12) ・教育用ICT機器リース(R1.9~R6.8) ・GIGAスクール運営支援センター委託	現在認識している課題	・現在のタブレット端末が耐用年数を迎えており、次年度には更新が必要となっている。 ・引き続き、端末を利用した効果的な学習機会の促進が必要である。
		10	小学校整備事業	小学校の施設改修を行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	○市内小学校の改修希望箇所調査 ○市内小学校の改修箇所 ・大蔵小学校シャワー室漏水修繕工事 ・校田小学校小便器漏水改修工事 ・生野小学校プールデッキフェンス改修工事 ○生野小学校プールデッキフェンス改修工事設計業務 ○梁瀬小学校校舎LED化工事設計業務 ○大蔵小学校トイレ洋式化工事設計業務	今後の方向、見直し、対応策等	・漏水等の突発的なものを除き、改修箇所の査定を行い緊急順位の高いものから実施していく。 ・施設の高齢化も目立つため、計画的に大規模改修等を実施し、施設の高齢化をめざす。
		11	中学校整備事業	中学校の施設改修を行い、安全で質の高い教育環境の整備を図る。	○市内中学校の改修希望箇所調査 ○市内中学校の改修箇所 ・生野中学校 廊下及び生徒通口壁面再塗装工事 ・和田山中学校 看板撤去工事 ・和田山中学校 窓ガラス遮熱フィルム施工 ・朝来中学校 特別支援教室増設に伴う設置工事 ○朝来中学校特別支援教室増設に伴う備品購入 ○生野中学校屋内運動場LED化工事設計業務 ○朝来中学校トイレ洋式化工事設計業務	今後の方向、見直し、対応策等	・漏水等の突発的なものを除き、改修箇所の査定を行い、緊急順位の高いものから実施していく。 ・施設の高齢化も目立つため、計画的に大規模改修等を実施し、施設の高齢化をめざす。
12	小学校教育振興事業	小学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立小学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入。 ICT環境の整備を行う ・理科数学振興備品購入(生野小学校、梁瀬小学校) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・タブレット端末他ICT機器保守 ・教育用センターサーバリース(R8.1~R10.12) ・教育用ICT機器リース(R1.9~R6.8) ・GIGAスクール運営支援センター委託	今後の方向、見直し、対応策等	・国、県が進めるタブレット端末の更新を令和7年度に行う。 ・最新端末に更新されることにより、ICTの活用がより快適に行えることとなる。ICT支援員によるサポートや教員への研修も含め、ICT機器の活用機会を増やしていく。		
13	中学校教育振興事業	中学校が創意工夫し、特色を生かして教育活動を展開するために必要な環境整備を図る。	市立中学校の教材等経費。各学校に必要な経費予算を配当し、必要な教材等を購入。 ICT環境の整備を実施。 ・理科数学振興備品購入(梁瀬中学校) ・各校教材備品購入 ・校務用パソコン更新 ・タブレット端末他ICT機器保守 ・教育用センターサーバリース(R8.1~R10.12) ・教育用ICT機器リース(R1.9~R6.8) ・GIGAスクール運営支援センター委託	今後の方向、見直し、対応策等	・国、県が進めるタブレット端末の更新を令和7年度に行う。 ・最新端末に更新されることにより、ICTの活用がより快適に行えることとなる。ICT支援員によるサポートや教員への研修も含め、ICT機器の活用機会を増やしていく。		

IV 朝来の未来を支える多様な力を培い、人材を育成します。	1 就学前教育・保育の充実	14	子ども子育て支援計画推進事業  子ども・子育て関連3法に基づき「朝来市子ども・子育て支援事業計画(第2期)」を策定し、令和6年度までの「質の高い学校教育・保育の一体的な提供」、「保育の量的拡充」、「家庭における養育支援の充実」等、必要な確保方を推進する。計画の進行管理と、必要に応じ計画・確保方策の見直しすることにより、朝来市における子育て支援を充実する。	・令和7年度から令和11年度までの「第3期朝来市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 ・令和6年度は、第2期計画の進行管理とともに、上記事業計画を策定するため、子ども・子育て会議を4回開催した。	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・「こどもまんなか社会」づくりに向けて社会全体で後押しをしていく必要があるが、こども基本法やこどもの権利条約の周知をはじめとして、社会全体での取り組みにはしていない。 ・子どもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、意見を聴き、対話しながら状況やニーズを的確に把握し施策に反映していくことに加えて、子どもや若者の社会参画を進めていくことが重要であるが、部分的であり、全庁的な取組にしていなければならない。 ・多様な保育ニーズ、子育て支援ニーズに対応した施策展開が求められる。
		15	私立保育所・こども園特別保育支援事業  地域子ども・子育て支援事業に取り組む市内の私立保育園及びこども園等に対して補助を行うことにより、子育て支援の充実を図る。	【延長保育事業】 5園 【地域子育て支援拠点事業】 4園：一般型(5日型)(3園) 一般型(6~7日型)(1園) 【一時預かり事業】 6園 【病児・病後児保育事業】 病児:1施設 【病児保育サポート事業】 2園 【利用者支援事業】 2園 【放課後児童健全育成事業】 3園 【こども園等光熱費高騰対策支援補助金】 3園 (学童対象)	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・支援を必要とする子どもの保育を充実させるために、加配保育教諭を配置することで、私立こども園・保育園の負担を軽減する必要があるが、支援が多岐にわたることから、対応できる保育教諭を確保することが難しくなっている。 ・多様化する保護者の保育ニーズに対応していく必要がある。
		16	私立保育所・こども園運営改善支援事業  私立保育園等の安定経営と延長保育等の特別保育事業に積極的に取り組む私立保育園等に対して補助金を交付し、保育内容・保育環境の充実を図る。	○負担金及び交付金 【運営改善事業補助金】市内私立保育園等6園に補助 1 事務費補助分として、定員数×10,000円 2 事業費加算分として、朝来市保育所等運営補助金交付要綱の別表に掲げる対象事業のうち、実施事業数× 年額100,000円 別表の対象事業 ・保育所地域活動事業:6園 ・延長保育事業:6園 ・一時預かり事業:6園 ・地域子育て支援拠点事業:4園 ・病児・病後児保育事業:病児1施設 ・利用者支援事業:2園 3 管理師配置補助:1園 4 保育士等褒賞補助:2園 5 給食費(副食費)補助:市内私立園6園、管外園 6 光熱費高騰対策補助:市内私立園6園 7 ICT化推進補助:2園 8 保育体制強化事業補助:1園 9 施設環境整備事業補助:1園	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・保護者のニーズにより年度ごとに利用園児が変動するため、各園における運営の見直しや事業の実施状況について把握する必要がある。 ・各補助金の充当先を把握するため、各園で作成された収支決算書等の資料を確認し、各園との聞き取りを実施する必要がある。
17	こども園学びのサポート配置事業  こども園に在籍する特別な支援を必要とする園児について、介助員を配置し、支援を必要とする園児の発育を促す。	○特別な支援を必要とする園児一人一人の発達過程に応じた教育・保育を実施するため、介助員が必要なこども園に対し職員を配置	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・支援を必要とする園児が増加傾向であるとともに、1対1での支援を必要とするケースもある。  ・支援を必要とする園児の把握を行うとともに、介助員の適正な配置に努める。 ・市主催の介助員研修や、県・各種団体が主催する研修への積極的な参加を促し、園児一人一人に寄り添った支援が提供できるよう介助員の資質向上に努める。		
V 誰にも保障される、充実した学びを支えるセーフティネットを構築します。	関係機関・地域と連携した子育て支援の充実	18	放課後児童対策事業  小学校1年生から6年生までの児童を対象に学童クラブを開設し、放課後、就労等で保護者が不在の家庭に対し、子育て支援を行うことにより、保護者が安心して就労及び子育てが出来る環境を整える。	【公立学童クラブの運営等】 ・学校や既存の施設を有効活用して公立学童クラブを8ヶ所開設(運営委託) ・光熱水費等の維持管理経費 ・使用料徴収事務 ・勤務する支援員に対し研修会を実施	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・支援員の人材確保が難しくなっている。 ・支援を必要とする児童への対応には、支援員の専門的な知識が必要となってきている。  ・支援員を対象とした研修会の実施 ・すまいるルームによる相談対応等、関係機関と連携しながら支援員をサポートしていく。
		19	ファミリー・サポート・センター事業  子育ての援助を受けたい方(おねがい会員)と子育ての援助を行いたい方(まかせて会員)が、それぞれ会員登録をして、地域で子育ての援助活動を行う。	○ファミリー・サポート・アドバイザー1名の配置 ○会員の募集、登録 ○援助活動のコーディネーター ○まかせて会員を対象とした講習会の開催 等 【R6会員数】おねがい会員:40人 まかせて会員:16人 どちらも会員:9人 【R6援助活動回数】 119回	現在認識している課題  今後の方向、見直し、対応策等	・会員登録者は少しずつ増えているが、援助活動はまだ少ない。 ・顔見知りの会員同士の方が依頼しやすいため、交流会開催を要望する声がある。 ・事業周知を充実させる必要がある。  ・会員同士の交流会を開催し、援助活動の増加につなげていく。 ・民生児童委員協議会など、各種団体の会議で事業の説明を行い、周知を広めていく。

1 生涯学び続ける力の獲得	20	<p>生涯学習推進員設置事業</p> <p>生涯学習推進員の配置等により、地域における自主的な生涯学習活動を促進し、学習成果を活かした活力ある地域づくりを推進する。</p>	<p>○各地区における生涯学習を推進するための各種事業の開催</p> <p>○各地区連絡協議会</p> <p>・総会の開催(生野地区(5月9日)、和田山地区(5月24日)、山東地区(6月13日)、朝来地区(6月8日))</p> <p>○市連絡協議会</p> <p>・全体会、学習会の開催(6月19日)</p> <p>・演題:「生涯健康～フランクギターと共に～」、講師:村上 英司 氏(ふれあい講師)</p> <p>・代表者会の開催(6月14日、2月28日、3月28日)</p> <p>・生涯学習講演会(6月29日、10月20日、3月8日)</p> <p>・演題:「知って防ごう心不全～健康寿命を延ばすために気を付けたいこと～」、講師:石田 明彦 氏(堂岡病院循環器内科部長)</p> <p>・演題:「こころのキャッチボール～苦しみを笑いに変えた野球人生、講師:渡川 光男 氏(プロ野球解説者)</p> <p>・演題:「性教育が今の社会を変えられる」と思う3つの理由”誰が、何を、どうやって教えればいいのか”を一緒に考える勉強会、講師:木原 智子 氏(兵庫県立こども病院産婦人科医師)</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・生涯学習推進員を各区に1人としているが、人口減少により選出しにくい区が生じてきている。</p> <p>・生涯学習推進員の設置や在り方について、市生涯学習推進員連絡協議会代表者会、社会教育委員会等で市民の意見を聴取し、市における生涯学習の推進方法を整理していく。</p>
	21	<p>社会教育義務一般管理事業</p> <p>○社会教育行政に対する助言等の取得及び反映</p> <p>○若い鳥学級を開設し、視覚障害者の学習機会や社会参加の促進を図る</p>	<p>○社会教育委員会の開催(11月7日、3月27日)</p> <p>・社会教育に係る年間事業計画や各種施策等についての意見交換等</p> <p>○青少年問題協議会の開催(9月25日)</p> <p>・青少年の指導、育成等に係る関係団体・関係行政機関の取組みについての意見交換等</p> <p>○若い鳥学級の開設(7月7日、9月4日、10月2日、12月8日)</p> <p>・セタさまオカリナ演奏会</p> <p>・あんぱん作り・らくごる体操</p> <p>・卓球・バレー体操・短歌の講話</p> <p>・アロマクリームづくり・種メロフォークソング鑑賞</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・社会教育委員会は委員の社会教育行政への積極的な関わり方や活動の活性化が必要である。</p> <p>・若い鳥学級の学級生やボランティアの固定化、高齢化が進んでおり、継続的な学級活動を実施するため、新規学級生や新規ボランティアの確保が必要である。</p> <p>・社会教育委員会は市が取り組む社会教育事業に関する情報を的確に提供し、多くの意見や助言等の聴取に努め、今後の事業推進につなげていく。</p> <p>・若い鳥学級は学級生が参加しやすいよう活動内容を工夫するとともに、継続して広報等で周知していく。</p>
	22	<p>二十歳を祝う会開催事業</p> <p>二十歳の門出を祝い、「ふるさと朝来市」の良さを再認識する催しの創出を図る。</p>	<p>※対象者(平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの者)</p> <p>○有志による実行委員会の開催(8回)</p> <p>・二十歳のつどいの企画・運営…実行委員7名</p> <p>○令和7年1月12日開催…199名参加</p> <p>・二十歳を祝う会(記念式典)</p> <p>・オープニング(朝来市青少年オーケストラ)、式辞、祝辞、謝辞</p> <p>・二十歳のつどい</p> <p>・お笑いライブ、抽選会、思い出動画、UターンPPT</p> <p>・記念写真撮影</p> <p>・中学校区単位で撮影</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・朝来市の魅力を伝え、若者の定住を図る機会となるような事業展開が必要である。</p> <p>・朝来市の魅力を伝える機会を今後も継続して工夫していく。</p>
	23	<p>青少年オーケストラ事業</p> <p>○クラシック音楽に触れる機会を提供することで、子どもたちの好奇心や夢を育み、青少年の健全育成を図る。</p> <p>○市民にとって身近な音楽文化として、クラシック音楽の普及振興を図る。</p>	<p>○定期練習(毎週)</p> <p>・火曜日(18:30～20:00)、土曜日(15:00～17:00)</p> <p>○強化練習</p> <p>・夏季(8月3日、4日)、春季(3月22日、23日)</p> <p>○演奏活動</p> <p>・定期演奏会【クリスマスコンサート】(12月14日) 生野メインホール</p> <p>・二十歳を祝う会オープニング演奏(1月7日) 生野メインホール</p> <p>・第37期生入団式、歓迎演奏会(3月23日) あさごささゆりホール</p> <p>・出前授業 生野小学校2年生(10月3日)、生野小学校3年生、4年生(1月28日)</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・団員を一定数維持させるための新規入団員の確保や、演奏水準を維持向上させるための指導員の確保、後継者育成が必要である。</p> <p>・オーケストラ事業のPRなど啓発活動を行うことにより演奏会への集客を増やし、市民へのクラシック音楽の普及振興を図っていく。</p> <p>・青少年健全育成事業として重要な役割を担っており、市独自の人材育成の取り組みを継続実施していく。</p> <p>・市内小学校での「出前授業」を継続実施し新規入団員の確保に努めていくとともに、音楽活動をやりたい子どもたちの受け皿としてより充実した活動を継続していく。</p>
	24	<p>図書館運営管理事業</p> <p>○図書館資料を適切に整備し、市民へ広く情報提供を図る。</p> <p>○快適で利用しやすい図書館環境の維持管理を図る。</p>	<p>○資料の貸出(個人:133,337冊、団体:13,232冊)</p> <p>○レファレンスサービス(1,802件)</p> <p>○館内、館外のおはなし会の実施(館内:163回、912人 館外:151回、4,991人)</p> <p>○ブックリスト配布等による読書案内(年2回 幼児～中学生)</p> <p>○ブックスタート[8か月児とその保護者対象](124人)</p> <p>○各種行事の開催(星空観望会、防災グッズ工作会、オオサンショウウオ出前見学会、小・中学校POP展等)</p> <p>○和田山図書館、あさご森の図書館の維持管理</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・利用者アンケートを実施したところ、力を入れてほしい取り組みとして「所蔵資料の充実」が最も多かった。適正な取書のためには同時に計画的な除籍作業を進める必要がある。また、飲食可能スペースを望む声もあり、施設の使用方法についての検討が必要である。</p> <p>・生野図書館の再開に向けて、蔵書の取り扱いや業務の分担などを調整する。</p> <p>・ボランティア活動を開始するにあたり、参加者から意見を聞くなどして、図書館運営に根付いた活動になるよう支援していく。</p>
25	<p>社会教育団体支援事業</p> <p>青少年の健全育成や市民の自主的な生涯学習活動の促進を図る。</p>	<p>○社会教育団体への活動補助金等の交付</p> <p>・青少年スポーツ・文化活動団体</p> <p>・朝来市文化協会</p> <p>・朝来市子ども会連絡協議会</p>	<p>現在認識している課題</p> <p>今後の方向、見直し、対応策等</p>	<p>・青少年スポーツ・文化活動の団体数は横ばいの状況であるが、チーム内の人数が毎年減少し活動が危ぶまれているところもある。</p> <p>・文化協会の加盟団体の高齢化が進んでおり、団体数や会員数が減少している。</p> <p>・青少年スポーツ・文化活動の団体は固定されているが、審判に上位大会へ出場し成果を上げており、青少年の健全育成を図るため、今後も適切な支援に努めていく。</p> <p>・子ども会連絡協議会が唯一の市内の子ども会組織を連携する役割となっており、継続して支援していく。</p> <p>・文化の維持・充実を図るため、文化協会活動を継続して支援していく。</p>	

VI. 生涯学び続け、人生を豊かに生き抜く、活躍できる力を育成します。

26	保健体育一般管理事業	朝来市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21朝来市推進委員会を核として、市民が気軽にスポーツに親しめるための環境づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝来市スポーツ推進審議会の開催(7月、10月、11月及び3月の年4回)</li> <li>・第3期朝来市スポーツ推進計画の審議、第2期朝来市スポーツ推進計画の進捗評価、スポーツ団体への補助金等重要事項の協議</li> <li>○朝来市スポーツ推進委員会の活動(事務局)</li> <li>・総会、役員会、事業・研修・広報委員会の開催(10回)</li> <li>・市民が気軽に参加できるスポーツ大会や体験会等の実施</li> <li>・スポーツ特集記事の市広報誌への掲載(6回)、スポーツ推進委員会だよりの発行(10月)</li> <li>○スポーツクラブ21朝来市推進委員会の開催(8月)</li> <li>・今後の運営協議、SC21但馬大会や全県サミット等に参加</li> <li>・今後の運営方針についてのヒアリングを実施</li> </ul>	現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市スポーツ推進委員会主管事業は気軽に取り組めるニュースポーツの普及などの事業展開、ニュースポーツの指導に向けた体制整備が必要である。</li> <li>・スポーツクラブ21は基金残高の減少、後継者や指導者の不足等により活動が停滞しているクラブがある。</li> </ul>	
				今後の方向、見直し、対応策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の実技や助言などその指導力を生かしながら、気軽にスポーツに親しめ、時代に即したスポーツ事業の企画や計画を行い、スポーツを通じた活力ある朝来市づくりを推進していく。</li> <li>・スポーツクラブ21はクラブ側とのヒアリング結果を参考に、今後の方向性を定めていく。</li> </ul>	
	27	体育協会等支援事業	スポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくり、競技力の向上を図る。	○朝来市体育協会、朝来市陸上競技協会への活動補助金の交付	現在認識している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少や高齢化している加盟団体が見られる。</li> <li>・種目団体での活動は活発化しているが、朝来市スポーツ推進委員会やスポーツクラブ21、ジュニアスポーツ団体などのスポーツ団体との連携が不足している。</li> </ul>
					今後の方向、見直し、対応策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市スポーツ推進委員会やスポーツクラブ21、ジュニアスポーツ団体との連携を密にし、競技スポーツ者として実技指導や助言ができるような組織となるよう支援していく。</li> <li>・令和4年度から取り組んでいる「朝来市トップアスリート教室」を継続して実施し、競技力の向上や競技者人口の増加、ジュニアスポーツ団体の強化につなげていく。</li> </ul>
	28	社会体育事業(全市)	スポーツを通じた健康増進と市民の交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝来市民交流ソフトボール夏季大会(6月9日(日)、8チーム、108名参加予定であったが雨天中止)</li> <li>○第20回朝来市長杯バレーボール大会(6月23日(日)、16チーム、119名参加)</li> <li>○朝来市民交流ソフトボール秋季大会(10月6日(日)、11チーム、142名参加)</li> <li>○第20回朝来市民軟式野球大会(10月20日(日)、3チーム、40名の参加申込があったが大会開催要件チーム数(4チーム以上)未達のため中止)</li> <li>○2024あさご市スポレク大会(11月23日(土・祝)、124名参加)</li> <li>○朝来市民スキー・スノーボード教室(1月26日(日)、104名参加)</li> </ul>	現在認識している課題	・個人での参加や敷人が集まってチームを編成するなど、小さなコミュニティでも参加が出来る種目の設定が必要である。
					今後の方向、見直し、対応策等	・スポーツ関係団体、市民の意見も聞きながら、実施事業について精査していく。
29	温水プール運営管理事業	市民の健康増進と心豊かな生活の醸成を育むため、市営温水プールを設置し、適正な運営管理を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営をシンコースポーツ兵庫株式会社に指定管理(指定期間は令和3年度～令和7年度の5年間)</li> <li>○温水プール運営委員会を開催し(10月と3月)、利用者の意見も参考にしながらの運営について協議</li> </ul>	現在認識している課題	・コロナ禍の影響により減少した利用者数が回復傾向にあるが、継続して利用者増に向けた管理運営が必要である。	
				今後の方向、見直し、対応策等	市民の健康増進の拠点として、引き続き適正な管理運営や計画的な修繕を行いながら、利用者増に向けた周知活動の実施や自主事業充実を図っていく。	
30	体育施設整備事業	市民のスポーツ振興と健康増進のための環境整備と利用者が安心して利用できる施設の整備を図る。	○和田山体育センター備品として卓球台20台更新	現在認識している課題	体育館など多くの施設が建築から30年余りが経過し、老朽化が顕著となる中、優先順位を付けた計画的な修繕、改修が必要である。	
				今後の方向、見直し、対応策等	公共施設再配置計画を踏まえ、今後の方向性を定めていく。	
30	体育施設整備事業(継続分)	市民のスポーツ振興と健康増進のための環境整備と利用者が安心して利用できる施設の整備を図る。	○朝来市屋根付運動施設整備に係る候補地調査業務委託	現在認識している課題	施設を整備する場所が和田山中央文化公園に決定したため、既存の公園機能、駐車場の確保、整備する施設の規模等について調整が必要である。	
				今後の方向、見直し、対応策等	朝来市屋根付運動施設整備検討懇話会を開催し、施設の規模、必要機能に係る意見聴取や基本計画に係るパブリックコメントを行うとともに先進地の事例を参考にしながら、事業推進を図っていく。	
31	2. 人権教育の推進	同和教育事業を重要な柱とした人権教育を図るため、地域・学校・家庭・行政が連携した学級を開設(教育委員会の権限に属する事務の補助執行)	○小中学生を対象とした、あすなる学級(小学生対象)・希望学級(中学生対象)の開設(あすなる学級7人19回、希望学級3人8回)	現在認識している課題	少子化が進む中、「あすなる学級・希望学級」においては、参加者の確保が難しくなっている状況であり、学級の在り方の検討が必要となっている。学級を持続可能なものにするためには、学級の在り方に關し、抜本的な改革に取り組む必要がある。	
				今後の方向、見直し、対応策等	同和教育事業を重要な柱とした人権教育を図るためには、学校関係者、保護者や地域住民等と連携した学級を開設する必要があり、児童生徒の多様な学びの場として「あすなる学級・希望学級」を存続させるため、学級の在り方を検討する。	

3 文化財の保存及び活用	32 文化財維持管理 事業	地域のシンボルとして文化財を守り活用し、地域住民に関心を持ってもらうとともに、市外からの観光客の興味を惹くことで交流人口を増やす。	○国史跡茶すり山古墳、県史跡小丸山古墳等環境維持事業 ・茶すり山古墳の除草作業を実施する(年間4回) ・小丸山古墳の除草作業を実施する(年間1回) ・長塚古墳、岡田2号墳の除草作業を実施する(年間1回)	現在認識している課題	・発掘調査等で見つかった資料に加え、地域で保護されている文化財を紹介し、文化財に対する地域の認識と理解を深めていく必要がある。 ・市民の関心、観光客の興味を惹き、朝来市の歴史文化の魅力を広く啓発するために、収蔵品、寄託品を活用した企画展や常設展に、VRエーションを増やす等、展示内容の充実を図る必要がある。
	33 文化財保存活用 事業(天然記念物 保護)	朝来市は、多くの天然記念物(生物・樹木)が豊富に生息する環境であり、特に特別天然記念物オオサンショウウオは非常に多く生息している。それらを適切に保護し、住民の誇りの醸成と地域活性化に寄与する活用方法を検討、実施することで、市内外に向けて天然記念物の価値を高めていく。	○天然記念物の保護業務 ・国特別天然記念物オオサンショウウオの市内河川での生息調査を実施 ・天然記念物(樹木)の定期点検	今後の方向、見直し、対応策等	・さまざまな分野をテーマにした展示を企画し、入館者の安定的な増加を図る。 ・隣接する道の駅但馬のまほろばとも連携し、イベントの開催などによって集客増を図る。 ・地域で継承されてきた文化財を把握し、公開・周知する機会を設けることで、地域への愛着を深め、文化財を保護する意識を高めていく。 ・事業をサポートしてもらった団体を再構築し、埋蔵文化財センターの事業に携わることができる人材を育成していく。
	34 文化財保存活用 事業(竹田城跡保 存活用事業)	朝来市を代表する史跡竹田城跡を次世代に継承し、地域の誇りとして市民意識の醸成を図る。	○竹田城跡ヘリテージ講座 ・講師 渡邊大門氏による歴史講演会を実施。参加者200人。 ○竹田城跡親子見学会 ・市内の小学生親子を対象とした見学会を実施。参加者は10人。 ○竹田城跡環境美化委託業務 ・竹田城跡内の草刈り・石垣の除草等の清掃作業を実施(年間4回) ○竹田城跡樹木等管理業務 ・樹木等の適正な管理を委託して実施	現在認識している課題	・オオサンショウウオに関心と興味を持つ人はもちろん、より多くの人に関心を持っていただけるよう、オオサンショウウオについて学ぶ機会を増やしていくことが肝要である。オオサンショウウオを含めこの自然環境の豊かさを後世に継承していく必要がある。
	35 文化財保存活用 事業(竹田城跡保 存整備事業)	史跡竹田城跡整備基本計画に基づき、史跡の適切な保護を行うとともに積極的に活用していく。	○竹田城跡整備検討委員会の開催 ・専門家や市民の代表者等で構成する委員会のなかで、適切な調査、保護の在り方について検討。委員会は年2回開催、現地の確認と会議を実施。 ○保護整備工事 ・本丸、天守台、平殿(一部)の保護工事。土系硬化舗装の敷設や木製階段の設置、芝生と保護マットの敷設を実施	今後の方向、見直し、対応策等	・市内、市外問わず、オオサンショウウオを中心とした朝来市の豊かな自然環境について学ぶ機会を提供していく。その拠点となる施設として、旧黒川自然公園センターを整備し、学習機会を提供するとともに、朝来市のPRに取り組む。 ・発掘調査などの調査成果などを市民に知っていただく機会が少ない。朝来市埋蔵文化財センターや情報館「天空の城」で展示を行い、地域の誇り史跡への認知を高めるとともに各関係団体と連携を図り、城跡に関する様々な情報を色んな媒体を駆使して効果的に行うことが重要である。 ・竹田城跡発掘調査で新たに分かった成果を公表し、VR技術による最新技術を駆使した視点を交えた見せ方などの新たな手法などについて調査・研究を図る。また、大河ドラマの放映に合わせ観光交流課や各関係団体と連携を図り、新たな魅力を情報発信できるように努める。